

# 2015年度 第1四半期 連結業績概要

2015年8月4日

**ブラザー工業株式会社**

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

単位：億円

連結業績	15Q1	14Q1	増減率 ( )は為替影響除く増減率
売上高	1,771	1,604	10.4% (+4.0%)
営業利益	153	165	-7.4%
営業利益率	8.6%	10.3%	
経常利益	160	148	7.9%
特別損益	-3	162	
法人税他	86	16	
四半期純利益	71	294	-75.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	69	294	-76.5%

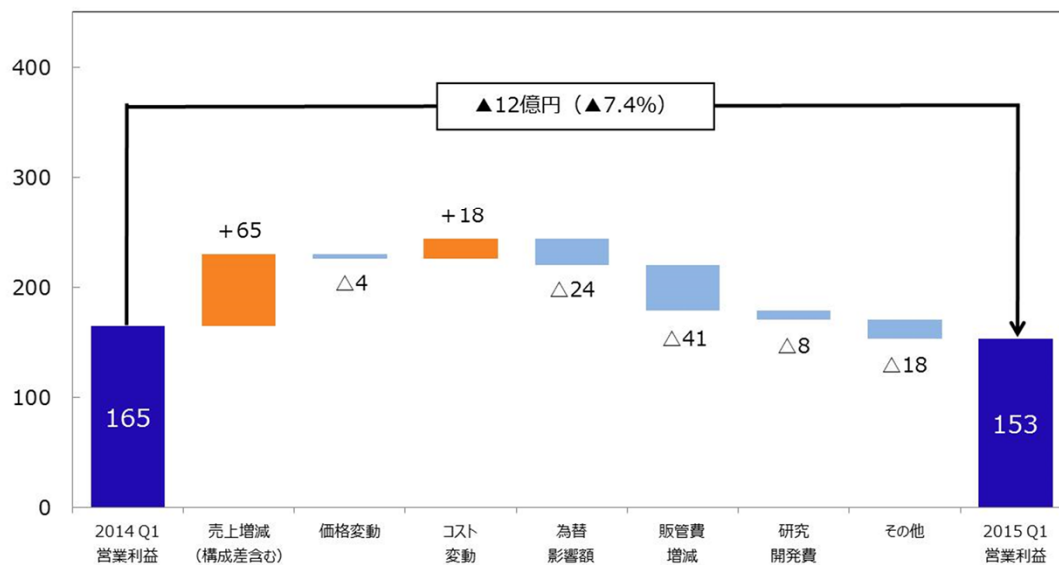
  

換算レート	15Q1	14Q1
USD	121.34	102.14
EUR	133.86	140.01

- ✓ IT関連顧客向けが好調だった産業機器が売上拡大を牽引
- ✓ 既存事業ベースでは営業増益となるも、買収関連費用の計上により、全社では減益となる
- ✓ 当期純利益は、不動産売却益や税効果会計等の前期特殊要因がなくなった影響により、大幅減益となる

- ✓ 売上高は、1,771 億円で、前年同期比10.4%の増収。IT関連顧客向けが好調だった産業機器が売上拡大を牽引。
- ✓ 営業利益は、既存事業ベースでは営業増益となるも、18億円の買収関連費用の計上により、全社では減益。
- ✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、不動産売却益や税効果会計等の前期特殊要因がなくなった影響により、大幅な減益。

単位：億円



© 2015 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

3

- ✓ 売上増減は、主に、P&S事業の消耗品売上の増加とM&S事業の産業機器売上の増加により、65億円のプラス。
- ✓ 為替影響は、ユーロが円高となったことを中心に、24億円のマイナス。
- ✓ 販管費は、P&S事業とM&S事業を中心に41億円の増加。
- ✓ 研究開発費は、対前年同期比8億円の増加。
- ✓ その他は、全額がドミノ社の株式取得等に係る費用。

単位：億円

連結業績	15年度新予想	前回予想	増減率	14年度通期	
					増減率 ( ) は為替影響を除く増減率
売上高	8,300	7,600	9.2%	7,072	17.4% (+14.2%)
営業利益	580	580	-	575	0.8%
営業利益率	7.0%	7.6%		8.1%	
経常利益	560	560	-	516	8.6%
特別損益	-5	-15		138	
法人税他	195	185		116	
当期純利益	360	360	-	538	-33.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	355	355	-	540	-34.2%

換算レート	15年度新予想	前回予想	14年度通期
USD	120.60	115.00	110.03
EUR	134.82	125.00	138.68

- ✓ 売上高は、為替の想定レートを円安方向への見直し及びDomino社の新規連結効果により、700億円の上方修正
- ✓ ドミノ事業関連で▲45億円の損益を織り込むも、為替のプラス影響等で吸収し、利益計画は期初予想から変更なし

- ✓ 今回の業績予想から、ドミノ社を連結範囲に加えた影響を織り込む。
- ✓ 売上高は、期初予想から700億円の上方修正。内訳は、ドミノ社の新規連結効果により500億円、為替の想定レートを円安方向に見直したことにより、約200億円。
- ✓ 営業利益は、ドミノ社株式の取得に係る一時的な費用も含め、ドミノ事業関連で△45億円のマイナスを織り込むものの、主に想定為替レートを円安方向に見直したことによるプラス影響等で吸収することで、期初予想から変更無し。

## プリンティング & ソリューションズ

- ✓一部の地域での一時的な在庫調整によりセルインが鈍化も、足元は改善の兆し
- ✓新興国でIJPのインク詰め替え式の大容量タンクモデルを投入

## パーソナル & ホーム

- ✓先進国は、北米の堅調は持続しているものの、欧州でロシアの売上が大幅減。
- ✓中国・アジア地域などの新興国でも市場の拡大が続く

## 工業用マシン

- ✓本縫い機新製品の投入により、中国は大幅増収となったものの、景気減速により、その他アジア地域の販売が想定を下回る
- ✓欧米ではガーメントプリンターが好調に推移

## 産業機器

- ✓IT関連顧客向けの出荷数量増により、四半期で過去最高の売上を計上
- ✓自動車関連顧客向けも安定的に推移

## ネットワーク & コンテンツ

- ✓3年ぶりとなる通信カラオケ機器新モデルを発表。
- ✓テイチクエンターテインメントの取り込みにより、原盤からカラオケまで一気通貫でコンテンツビジネスを展開する体制を構築

## 工業用部品

- ✓省エネ規制改正による、高効率ギアモーター（IE3）の販売拡大チャンスが到来

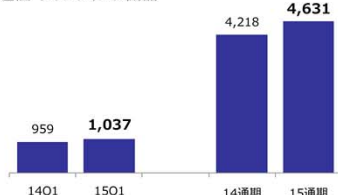
すべての地域で積極的な販売投資を実施し、増収を目指す

- ・一部地域での在庫調整により、Q1は弱めのスタート
- ・各地域とも消耗品は堅調に推移

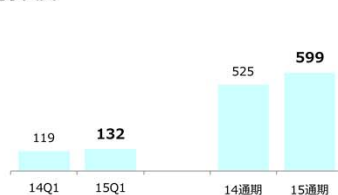


	14Q1	15Q1	伸び率	現通対ス 伸び率	14通期	15通期	伸び率	現通対ス 伸び率
<b>売上高</b>	<b>1,078</b>	<b>1,169</b>	<b>8.5%</b>	<b>1.7%</b>	<b>4,743</b>	<b>5,230</b>	<b>10.3%</b>	<b>7.0%</b>
<b>通信・プリンティング機器</b>	<b>959</b>	<b>1,037</b>	<b>8.2%</b>	<b>1.7%</b>	<b>4,218</b>	<b>4,631</b>	<b>9.8%</b>	<b>6.7%</b>
米州	374	424	13.5%	-0.8%	1,680	1,942	15.6%	8.5%
欧州	326	334	2.3%	4.7%	1,417	1,422	0.4%	1.8%
アジア他	173	177	2.4%	-7.3%	694	825	18.9%	14.1%
日本	86	102	18.9%	18.9%	427	442	3.5%	3.5%
<b>電子文具</b>	<b>119</b>	<b>132</b>	<b>10.6%</b>	<b>1.8%</b>	<b>525</b>	<b>599</b>	<b>14.2%</b>	<b>9.6%</b>
米州	56	68	20.5%	4.3%	253	298	17.7%	9.5%
欧州	36	37	3.8%	5.9%	158	162	2.7%	3.7%
アジア他	19	19	-3.6%	-14.8%	78	94	19.9%	13.8%
日本	8	8	5.9%	5.9%	35	45	27.7%	27.7%
<b>営業利益</b>	<b>118</b>	<b>109</b>			<b>357</b>	<b>383</b>		

<売上高>  
通信・プリンティング機器



<売上高>  
電子文具



<営業利益>

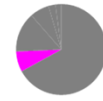


© 2015 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

- ✓ 通信・プリンティング機器、マーケット自体には大きな変化はないものの、米州、中国等の地域での一時的な在庫調整により、Q1はセルインが鈍化。ただし、セルアウト自体には大きな変化はないことから、Q2以降のセルインは元に戻ると想定。

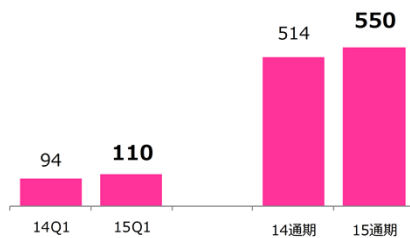
### 海外販売が好調に推移

- ・中価格帯新製品投入により、海外での売上が拡大
- ・欧州はロシア向けが弱含むも、西欧は堅調続く

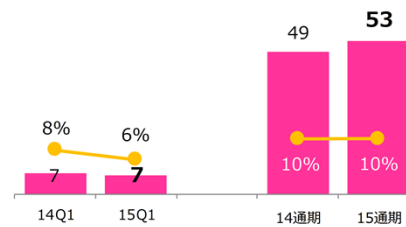


	14Q1	15Q1	伸び率	現通へ-ス 伸び率	14通期	15通期	伸び率	現通へ-ス 伸び率
<b>売上高</b>	<b>94</b>	<b>110</b>			<b>514</b>	<b>550</b>	<b>6.9%</b>	<b>2.7%</b>
米州	48	62	29.1%	13.0%	296	329	11.2%	3.6%
欧州	24	23	-7.2%	-2.8%	111	109	-2.1%	1.0%
アジア他	13	17	32.7%	21.4%	60	74	24.2%	19.6%
日本	9	8	-2.0%	-2.0%	48	38	-20.0%	-20.0%
<b>営業利益</b>	<b>7</b>	<b>7</b>			<b>49</b>	<b>53</b>		

<売上高>



<営業利益>



- ✓ 売上高は、中価格帯の新製品の投入により、海外を中心に売上が拡大。欧州はロシアの影響でマイナスとなるも、西欧は堅調が続く。

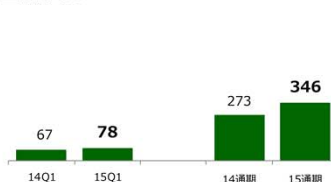
アジア地域で産業機器の販売が好調に推移

- ・工業用マシンは本縫い機新モデルを投入
- ・産業機器は、IT関連の好調が持続

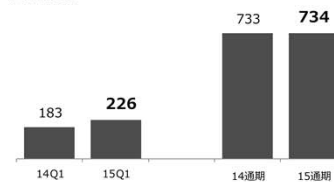


	14Q1	15Q1	伸び率	現通へス 伸び率	14通期	15通期	伸び率	現通へス 伸び率
<b>売上高</b>	<b>250</b>	<b>303</b>	<b>21.4%</b>	<b>13.9%</b>	<b>1,006</b>	<b>1,080</b>	<b>7.3%</b>	<b>2.9%</b>
<b>工業用マシン</b>	<b>67</b>	<b>78</b>	<b>16.6%</b>	<b>2.3%</b>	<b>273</b>	<b>346</b>	<b>26.7%</b>	<b>18.5%</b>
米州	13	16	26.6%	7.3%	54	62	15.7%	5.5%
欧州	10	12	16.2%	21.6%	43	47	9.2%	12.5%
アジア他	42	48	14.0%	-4.0%	169	230	35.7%	24.9%
日本	2	2	8.7%	8.7%	7	7	0.9%	0.9%
<b>産業機器</b>	<b>183</b>	<b>226</b>	<b>23.2%</b>	<b>18.1%</b>	<b>733</b>	<b>734</b>	<b>0.1%</b>	<b>-2.9%</b>
米州	8	6	-25.3%	-	29	28	-1.2%	-
欧州	6	7	31.6%	-	23	30	27.6%	-
アジア他	158	196	24.2%	-	622	609	-2.1%	-
日本	12	17	36.8%	-	59	67	13.1%	-
<b>営業利益</b>	<b>42</b>	<b>59</b>			<b>162</b>	<b>150</b>		

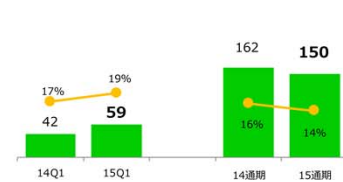
<売上高>  
工業用マシン



<売上高>  
産業機器



<営業利益>



© 2015 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

- ✓ 工業用マシンは、本縫い機新モデルの投入により、中国の売上が大きく回復。欧米においてはガーメントプリンターが堅調に推移。
- ✓ 産業機器は、IT関連の顧客向けの販売が好調に推移したことに加え、自動車関連顧客向けも堅調に推移し、四半期過去最高の売上となる。



### Joysound新モデルを発表

- ・3年ぶりとなる通信カラオケ新製品を7月に発売
- ・Q2以降の業績拡大を見込む

JOYSOUND MAX

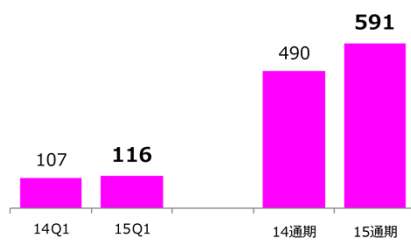


JOYSOUND 響

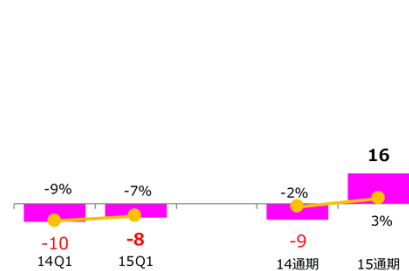


	14Q1	15Q1	伸び率	14通期	15通期	伸び率
売上高	107	116	8.4%	490	591	20.7%
営業利益	-10	-8		-9	16	

<売上高>



<営業利益>



- ✓ 売上高は、カラオケ店舗の運営事業が堅調に推移したことや、(株)テイクエンタテインメント及び(株)テイクミュージックを連結したことにより、増収となる。
- ✓ 営業損失となったものの、研究開発費等の減少により、損益が改善。

### 高効率ギアモーターの販売拡大

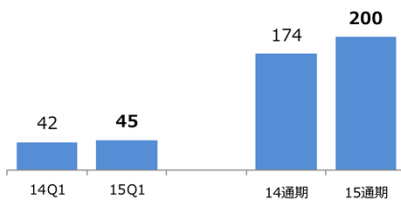
- ・国内市場では、IE3モーターの販売拡大を狙う
- ・北米・韓国での売り上げ拡大を目指す

Nissei 株式会社 ニッセイ

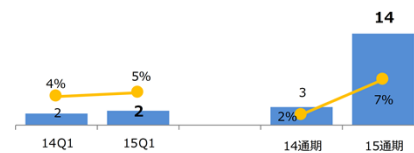


	14Q1	15Q1	伸び率	現通へvs 伸び率	14通期	15通期	伸び率	現通へvs 伸び率
<b>売上高</b>	<b>42</b>	<b>45</b>	<b>7.3%</b>	<b>3.7%</b>	<b>174</b>	<b>200</b>	<b>14.7%</b>	<b>12.7%</b>
米州	6	7	5.0%	-11.7%	23	30	31.6%	20.8%
アジア他	1	4	308.0%	259.9%	5	19	309.5%	288.9%
日本	35	35	-0.3%	-0.3%	147	151	2.7%	2.7%
<b>営業利益</b>	<b>2</b>	<b>2</b>			<b>3</b>	<b>14</b>		

<売上高>

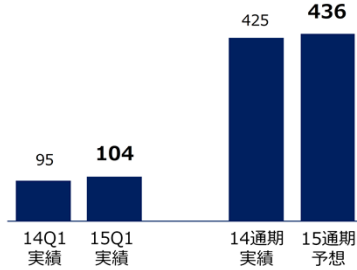


<営業利益>

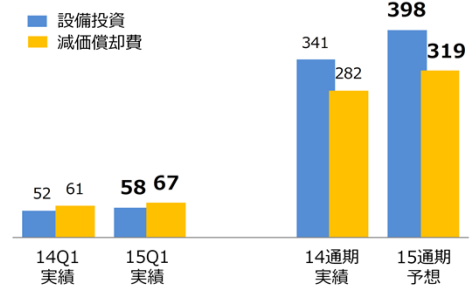


- ✓ 各地域とも堅調に推移したほか、アジアの一部地域における商流変更に伴う影響もあり、増収となる。

研究開発費  
(億円)

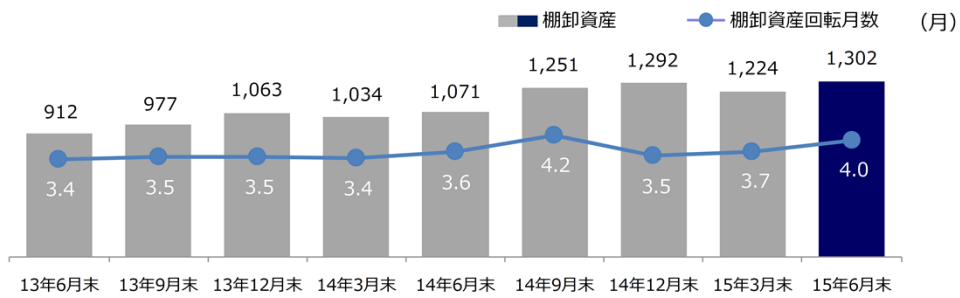


設備投資・減価償却費  
(億円)



※研究開発費・設備投資・減価償却費の15年度予想値には、ドミノ事業の数値は含まれておりません

棚卸資産  
(億円)



※15年6月末の棚卸資産残高にはドミノ事業分を除外して表示しております  
 ※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

**brother**  
at your side